



独立行政法人

大学改革支援・学位授与機構

National Institution for Academic Degrees and Quality Enhancement of Higher Education

Webinar2019

「国際共同教育プログラムにおける質保証の在り方」：

国際共同教育プログラムの運営を 成功に導く体制・組織とは

主催：大学改革支援・学位授与機構 研究開発部

国際連携・共同教育プログラムにおける質保証の
在り方に関する調査プロジェクトチーム

日時：平成31年2月5日（火） 11:00-16:00

国際的な共同教育プログラムにおける 質保証の在り方に関する調査

- ①「手引書・チェックリスト」作成
- ②「質保証活動」の実施状況
- ③「チェックリスト」の各項目に関する重要度・
実施状況
- ④大学のプログラム運営・組織体制

①「質保証を伴った共同教育プログラム実施のための手引書」作成（チェックリストを含む）

<背景>

- ・ 高等教育における国際化・各種の交流が展開。
- ・ 特に、日本と東アジア諸国の大学間協定や学生移動等の拡大。
- ・ 日本政府の政策的支援。
- ・ 東アジアにおける質保証を伴った学生交流、大学間交流を支援。

→国境を越えた共同教育プログラムの質を確認・保証する際に活用し得る、実践的なツール開発

①「質保証を伴った共同教育プログラム実施のための手引書」作成
(チェックリストを含む)

<https://www.niad.ac.jp/publication/tyousa/higashiasia/>



独立行政法人
大学改革支援・学位授与機構
National Institution for Academic Degrees and Quality Enhancement of Higher Education

English | 文字サイズ 中 大 特大

HOME

機構について

学位の授与

大学等の評価

国立大学等の
施設整備支援

質保証・
国際連携

調査研究

イベント

出版物等

HOME > 出版物等 > 調査研究関係 > 東アジアにおける国際連携・共同教育プログラムにおける質保証の在り方に関する調査

出版物等

> 大学改革支援・学位授与機構について

> 学位授与事業について

> 評価事業について

> 施設費交付・貸付事業関係

> 質保証・国際連携関係

> 調査研究関係

> その他

東アジアにおける国際連携・共同教育プログラムにおける 質保証の在り方に関する調査

■報告書 (4.28MB)

別冊資料：質保証を伴った共同教育プログラム実施のための手引書（チェックリストを含む） (1.00MB)

[Checklist for quality assurance of international collaborative programs](#) (0.13MB)

PDF-file

PDFファイルです。WEB上で見ることもできますが、表示に時間がかかることもあります。
ダウンロード(ファイルに保存)して参照することをおすすめします。

プログラム構築の段階において、連携しようとする大学の当該国における法的な位置づけや、公的な団体等からの質保証の有無の確認が必要である。また、当該国の高等教育の制度・仕組みの理解も必要である。さらに、プログラムの構築にあたり、合意形成のプロセスが連携する大学間で明確であること、運営委員会等を設置し、連携大学間で運営方針を含め、実施計画等について綿密に協議し、共通認識を持つ必要がある。特に、多くの大学が参加するコンソーシアムの場合、運営の手続きの手順・方法や責任体制の明確化をし、認識を共有していることが重要であるといえる。

これらを踏まえて、共同教育プログラムを構築しようとする大学は、その円滑な開始と着実な実施のために、以下の事項について確認することが望ましい。

- | |
|--|
| 1.1 連携大学間の当該国における法的な位置づけ、質保証制度、高等教育制度・仕組みに関する必要な情報を収集・把握しているか |
| 1.2 連携大学または連携プログラムが当該国において、公的な、または公的に認定された民間団体の質の保証を受けていることを確認しているか |
| 1.3 当該国における共同教育プログラムに関する公的な、または公的に認定された民間団体による、ガイドライン及び指針等の有無とその内容を確認しているか |
-
- | |
|--|
| 1.10 共同教育プログラムに関する用語の定義について、連携大学と共通の認識を有しており、その内容を明文化しているか |
| 1.11 外部専門家（コンサルタント等）や有識者の協力や指導・助言を得て、プログラムの妥当性を確認しているか |
| 1.12 共同学位プログラムを構築する場合は、段階的な交流を実施し、その経験からのノウハウや課題を確認しているか |

【1.1】 連携大学間の当該国における法的な位置づけ、質保証制度、高等教育制度・仕組みに関する必要な情報を収集・把握しているか

ここで「連携大学」とは、共同して教育プログラムを実施しようとする相手先の大学（複数である場合も含む）を指している。連携大学間とは、自大学を含む参加大学を指している。

構想している共同教育プログラムがすべての参加大学が属する国の制度上の要件を満たしていることを確認する必要がある。

【1.2】 連携大学または連携プログラムが当該国において、公的な、または公的に認定された民間団体の質の保証を受けていることを確認しているか

①手引書・チェックリスト

チェックリスト

プログラム構築段階

1. プログラム構想(12)
2. 目的と実施体制(8)

学生入学・資源確保段階

3. 教職員(4)
4. 学生選抜・参加(5)
5. 財政と施設・設備(7)

教育実施段階

6. 教育内容・方法(15)
7. 成績評価(3)
8. 単位互換・認定(7)
9. 学習支援(9)
10. 生活支援(4)

成果測定・評価段階

11. 学習成果の測定(6)
12. 学位授与(5)
13. 内部質保証(8)

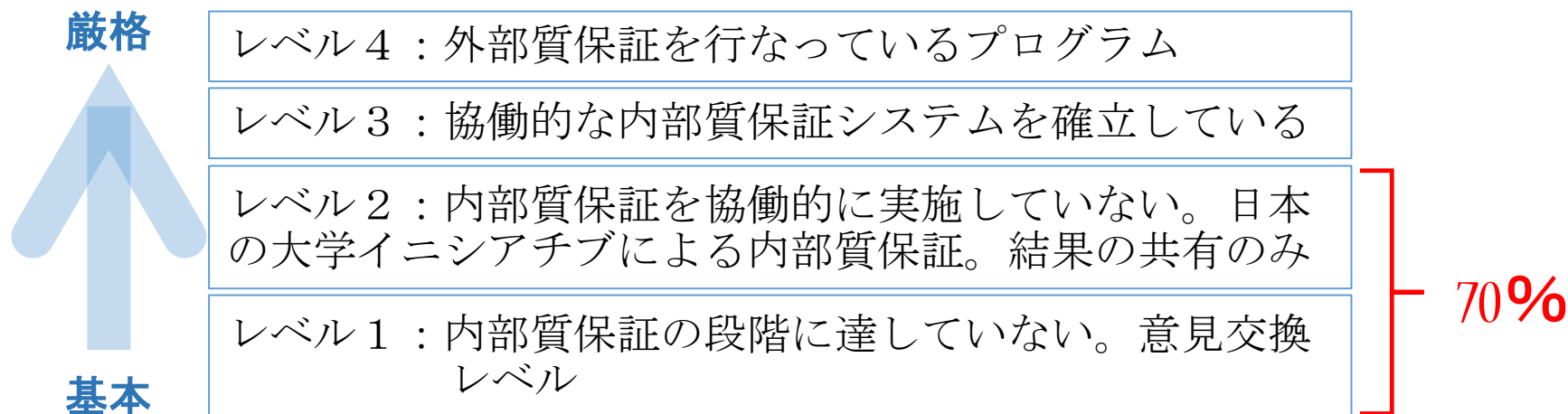
国際的な共同教育プログラムにおける 質保証の在り方に関する調査

- ①「手引書・チェックリスト」作成
- ②「質保証活動」の実施状況
- ③「チェックリスト」の各項目に関する重要度・
実施状況
- ④大学のプログラム運営・組織体制

②「質の保証を伴った共同教育プログラム」として採択されたプログラムにおける「質保証活動」の実施状況

➤ 分析対象と方法： 世界展開力強化事業の実績報告書（2011-2016）91件、テキスト分析

➤ 結果：



- レベル3に達する大学はプログラムが継続的に実施されているケースが多い。
- 国際的な共同教育プログラムを効果的に実施するためには、**レベル3への到達が望ましい。→協働作業可能なツールとしてチェックリスト活用可能**

国際的な共同教育プログラムにおける 質保証の在り方に関する調査

- ①「手引書・チェックリスト」作成
- ②「質保証活動」の実施状況
- ③「チェックリスト」の各項目に関する実施状況・
重要度
- ④大学のプログラム運営・組織体制

③各項目に対する実施状況と重視すべき度合いに関するアンケート調査(オンライン)

- 調査依頼対象：世界展開力強化事業説明会に参加した大学から、連絡先をもらった63大学（80名の教職員）
- 調査期間：2016年11月1日～12月13日
- 回答：18名（回答率22.5%）

➤結果

✓全体的に「チェックリスト」に関する重視度合は高い傾向

✓重視への認識度合と実施状況のギャップが大きい項目や他に比べて重視への認識度合が低い項目が明らかに

「重視すべき度合」 5＝重視すべきである 4＝どちらかと言えば重視すべきである 3＝どちらとも言えない
2＝どちらかと言えば重視すべきではない 1＝重視すべきではない
「実施状況」 3＝実施・実現した 2＝実施・実現していないが計画中 1＝実施・実現していない

【結果の例】重視すべき項目としての認識と実施状況 (CAMPUS Asia/ASEAN)

	重視すべき度合い (平均)			実施状況 (平均)		
	CAMPUS Asia (n=4)	ASEAN (n=6)	全体 (n=10)	CAMPUS Asia (n=4)	ASEAN (n=6)	全体 (n=10)
16.4 連携大学間で教育内容の水準の同等性を確保するため、定期的な相互確認を実施しているか	5.0	4.8	4.9	2.0	1.8	1.9
11.12 共同学位プログラムを構築する場合は、段階的な交流を実施し、その経験からのノウハウや課題を確認しているか	5.0	4.6	4.8	2.8	1.8	2.1
17.1 連携大学間で成績評価基準・方法について調整を行い、適切な成績評価ができる仕組みを構築しているか	5.0	4.5	4.7	1.8	2.0	1.9
12.8 やむを得ない事由によりプログラムが終了（廃止）された場合、修了認定の有効性を担保するなどプログラムに参加した学生の不利益を回避するための支援体制・仕組みが整備されているか	4.3	4.7	4.5	1.8	1.8	1.8

「重視すべき度合い」 5＝重視すべきである 4＝どちらかと言えば重視すべきである 3＝どちらとも言えない
2＝どちらかと言えば重視すべきではない 1＝重視すべきではない

「実施状況」 3＝実施・実現した 2＝実施・実現していないが計画中 1＝実施・実現していない

- **東アジアにおける国際連携・共同教育プログラムにおける質保証の在り方に関する調査報告書(2016) 大学評価・学位授与機構**
- Sounghee KIM, Kiyoko SAITO(2017) "Developing and Verifying a Checklist for Internal Quality Assurance of International Collaborative Programs in Asia", Proceedings paper of APQN Conference 2017
- Sounghee KIM, Kiyoko SAITO(2017) "A Case Study of Checklist for Internal Quality Assurance of International Collaborative Programs in Japan", AQAN Seminar, Champasak Province, LAO PDR, 25 September 2017
- 齋藤聖子 (2017)「グローバル人材育成の質保証」『グローバル人材教育とその質保証』第二部第3節、pp142-151、ぎょうせい

国際的な共同教育プログラムにおける 質保証の在り方に関する調査

- ①「手引書・チェックリスト」作成
- ②「質保証活動」の実施状況
- ③「チェックリスト」の各項目に関する重要度・
実施状況
- ④大学のプログラム運営・組織体制

④ヒアリング調査

- 調査依頼対象：世界展開力強化事業の全プログラム（当該プログラムの企画、立案、実施に関わった教員と事務職員の方）
- 調査期間：2017年12月～2018年3月
- 実施：46大学（51プログラム）
- 質問項目
 - ・ プログラム背景、事業として取り組むことになった経緯等
 - ・ 学内におけるプログラムの位置づけ及び実施体制
 - ・ プログラムの構築－実施開始－実施中の各段階における留意点及び苦労した点
 - ・ 学生、教職員、大学全体でそれぞれ得られる付加価値及び肯定的な影響（インパクト）
 - ・ プログラム構築のために、参照した資料や事例等
 - ・ チェックリストの有効性等
 - ・ プログラムを継続的・効果的に運営するための課題

質の高い国際共同教育プログラムを継続的に運営できる組織とは？

1. 本部と部局の連携体制

- 連携体制の類型
- 本部と部局の連携体制とプログラムの継続性との関係

2. プログラムの実施・運営体制

- プログラム実施・運営体制の成熟度別分類
- プログラム実施・運営体制と質保証実施状況
- プログラム実施・運営体制と本部と部局の連携体制との関係

3. プログラムを構築・実施するにあたっての障壁

質の高い国際共同教育プログラムを継続的に運営できる組織とは？

1. 本部と部局の連携体制

- 連携体制の類型
- 本部と部局の連携体制とプログラムの継続性との関係

2. プログラムの実施・運営体制

- プログラム実施・運営体制の成熟度別分類
- プログラム実施・運営体制と質保証実施状況
- プログラム実施・運営体制と本部と部局の連携体制との関係

3. プログラムを構築・実施するにあたっての障壁

学内におけるプログラムの位置づけ

本部と部局連携体制

トップダウン型

- 丸投げ
- オーナーシップ
- 丸抱え

一体型

- 本部-部局一体

ボトムアップ型

- 承認
- 独立

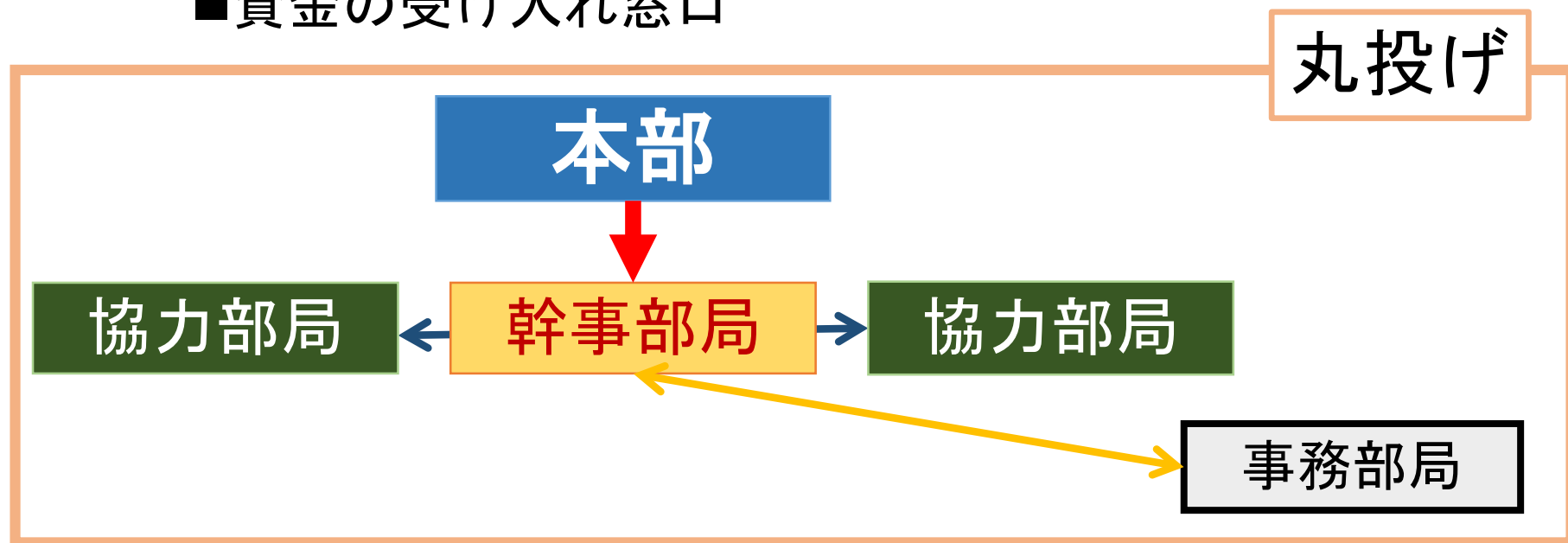
タイアップ型

- 領域
- 地域

学内におけるプログラムの位置づけ

本部と部局連携体制

- 部局への競争的資金獲得のための応募指示
- 資金の受け入れ窓口



- 部局間調整
- 実務関係とプログラム内容関係の調整

プログラムに関するすべての業務を幹事部局が担う

学内におけるプログラムの位置づけ 本部と部局連携体制

■プログラム関係のすべての業務（授業以外）を担う

丸抱え

本部

部局

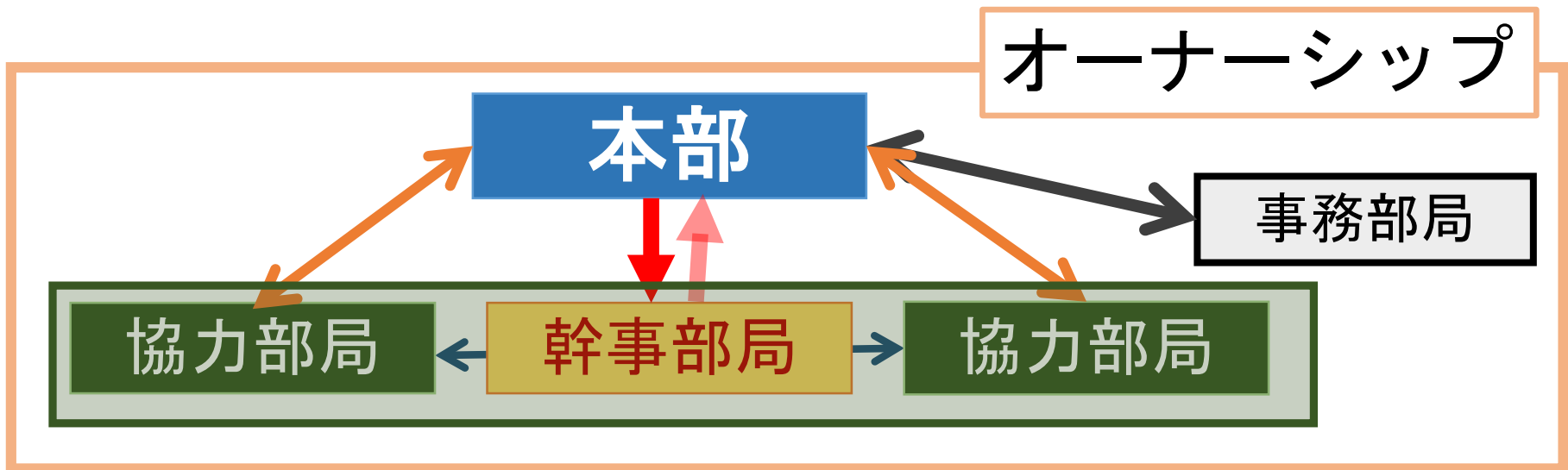
事務部局

- 本部が決定した枠組み・内容で実施する
- プログラムを実施するためのハコ

学内におけるプログラムの位置づけ

本部と部局連携体制

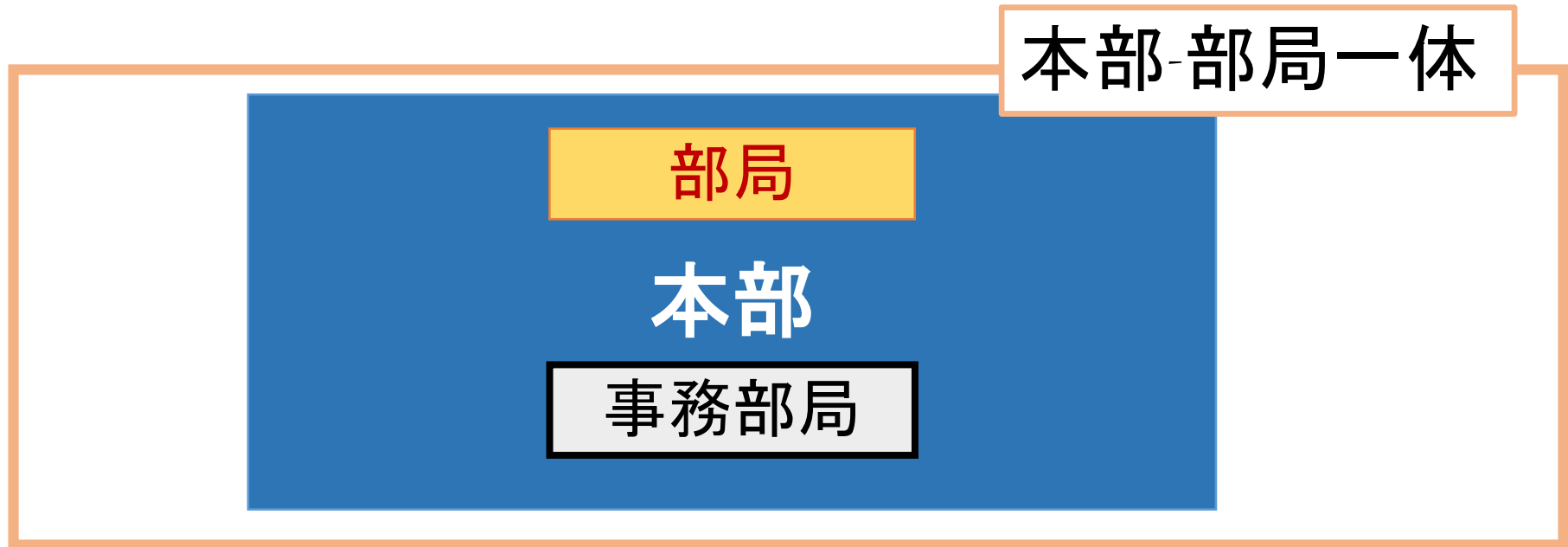
- 国際化戦略（競争的資金の応募部局の選定）
- 協定についての対応
- 資金の調達・受け入れ窓口
- 人的調整
- 部局間調整
- 事務的手続き



- プログラムの枠組み・内容・必要なリソースの検討
- プログラムの実施

プログラムの質の維持のみに集中できる

学内におけるプログラムの位置づけ 本部と部局連携体制



- 本部の意思決定組織の構成員と実施部隊の構成員がほぼ重複している

本部の意思決定内容が即時に実施部隊の意思決定として共有・実施される

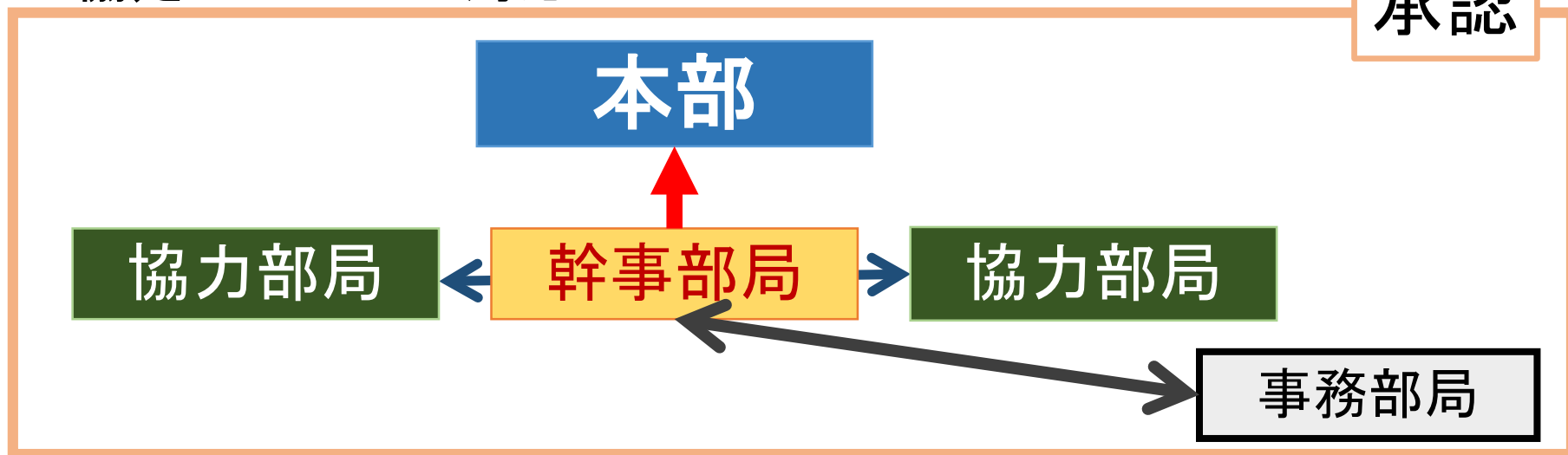
学内におけるプログラムの位置づけ

本部と部局連携体制

- 競争的資金の応募部局の調整
- 資金の受け入れ窓口
- 協定についての対応

- 資金の管理チェック
- 決定事項の承認

承認



- 競争的資金応募の決定からプログラム構築・運営まで
- 部局間調整
- 実務関係とプログラム内容関係の調整

大学内の部局の立ち位置が調整の困難性を左右する

学内におけるプログラムの位置づけ

本部と部局連携体制

独立採算

本部

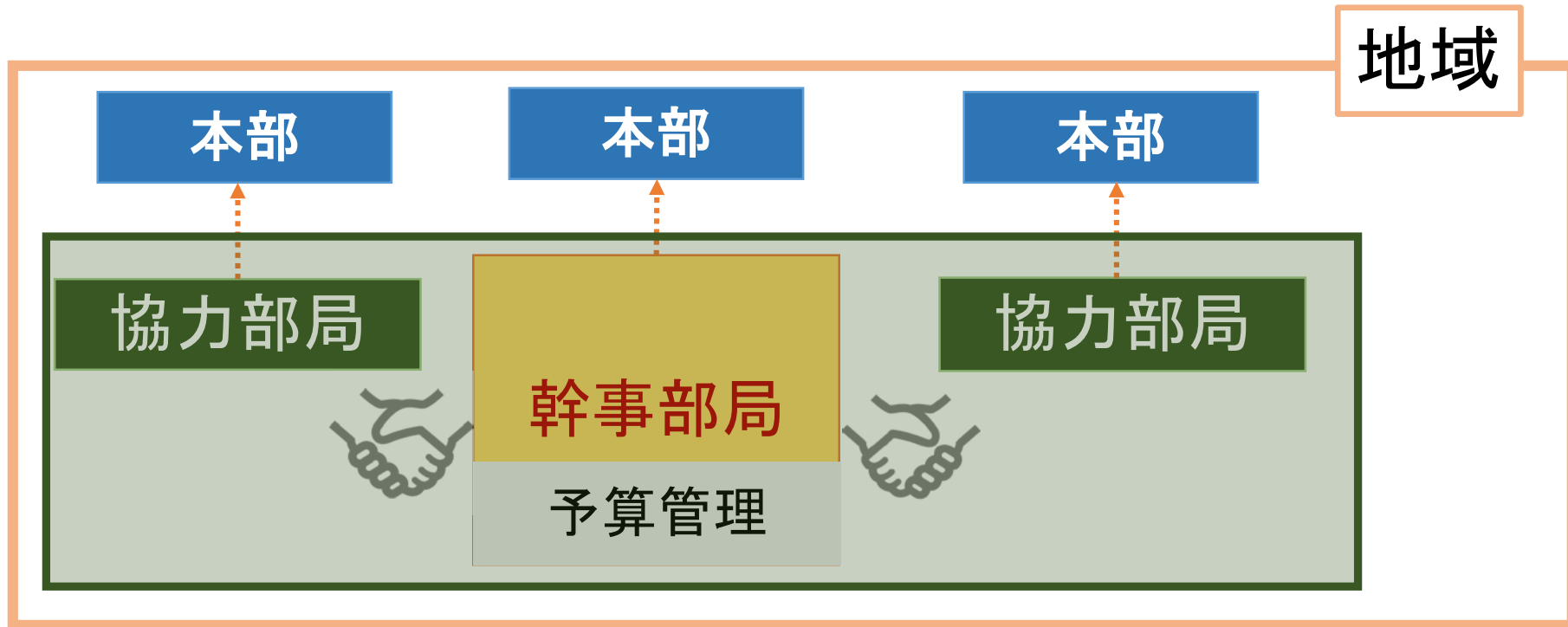
部局

事務センター

- 競争的資金の応募の決定・運営資金の調達
- 予算の管理・事務処理・プログラム内容等
- プログラムに必要なすべての作業を一部局内で完結
- 部局間調整の必要なし

本部に依存する必要がなく、成果を本部に還元する

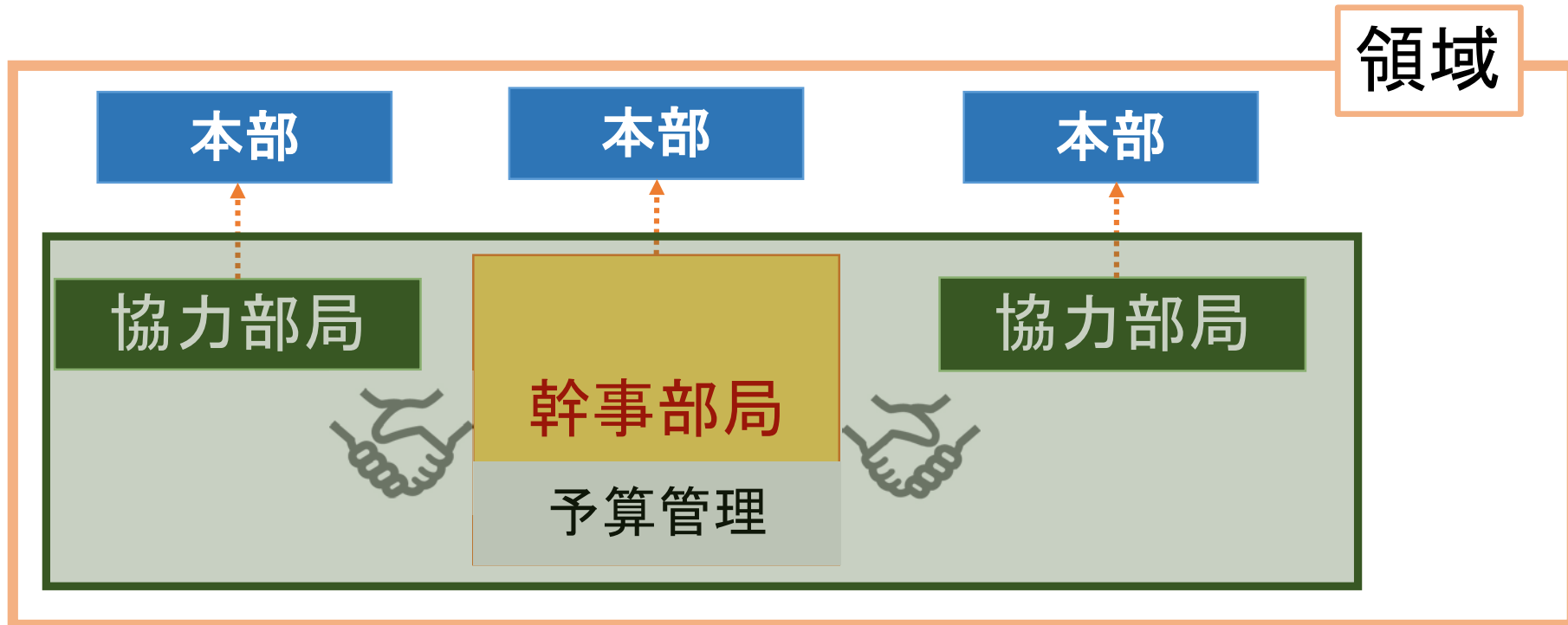
学内におけるプログラムの位置づけ 本部と部局連携体制



- 同地域で異領域
- 幹事大学が予算管理

互いの得意領域を活用し、不得意領域を補完するモール型

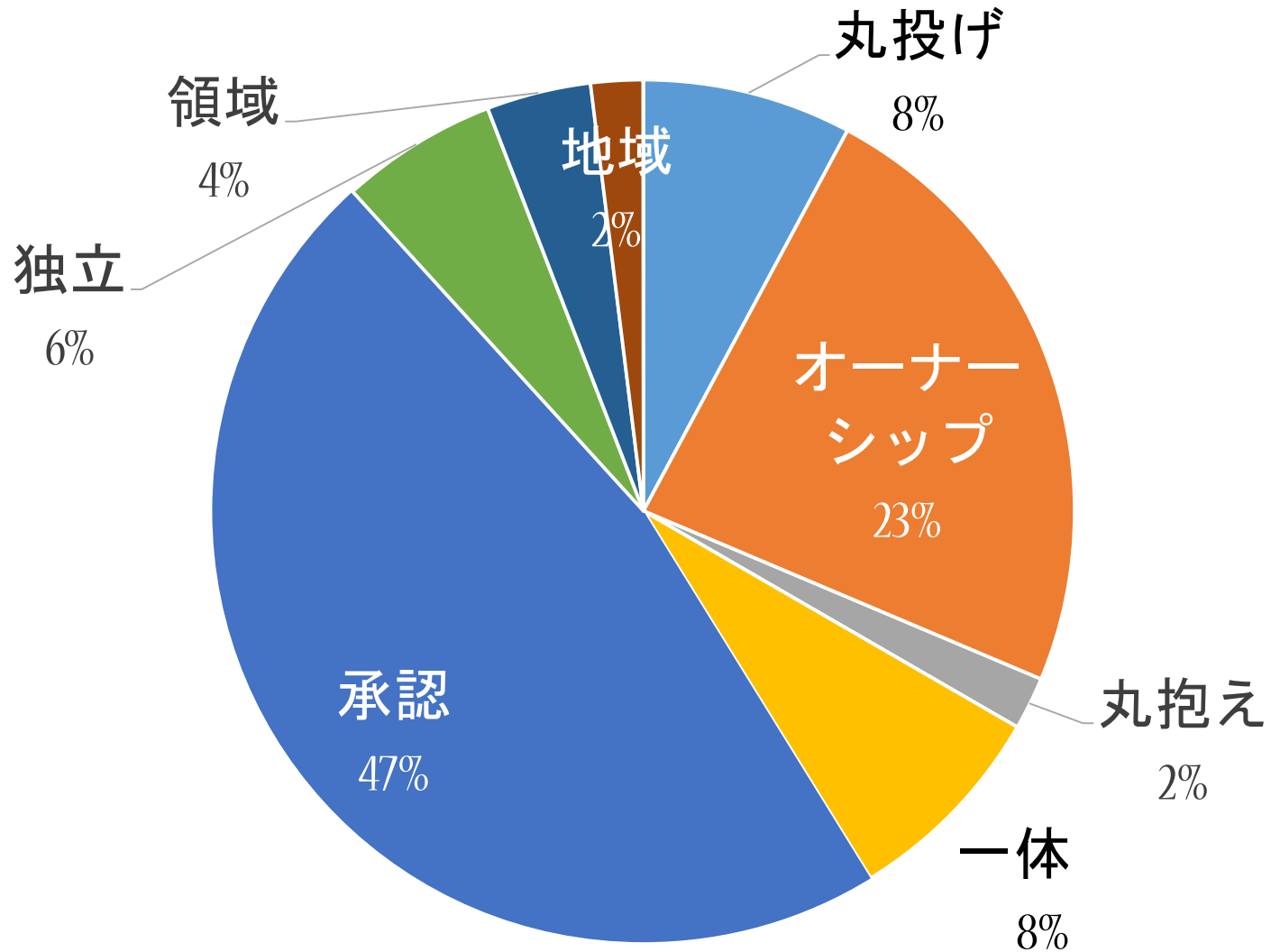
学内におけるプログラムの位置づけ 本部と部局連携体制



- 同領域で異地域
- 幹事大学が予算管理

互いの地理を活用し、領域を強化する領域特化型

学内におけるプログラムの位置づけ 本部と部局連携体制



本部・部局連携体制とプログラム継続性の関係

		継続性	
トップダウン型	丸投げ型	×	
	本部主導・部局オーナーシップ型	◎	
	丸抱え型	・・	
一体型	本部・部局一体型	・・	
ボトムアップ型	承認型	・・	
	部局独立採算性型	◎	*条件つき
タイアップ型	領域タイアップ型	◎	*条件つき
	地域タイアップ型	◎	*条件つき
	◎ 継続性あり		
	・・ 継続性はあるが、規模縮小		
	× 継続性なし、または、消極的規模縮小		

本部・部局連携体制とプログラム継続性の関係

		継続性	
トップダウン型	丸投げ型	×	
	本部主導・部局オーナーシップ型	◎	
	丸抱え型	・・	
一体型	本部・部局一体型	・・	
ボトムアップ型	質保証を伴う外部ネットワークに属している		
	部局独立採算性型	◎	*条件つき
タイアップ型	領域タイアップ型	◎	*条件つき
	地域タイアップ型	◎	*条件つき
	◎ 継続性あり		
	・・ 継続性はあるが、規模縮小		
	×	継続性なし、または、消極的規模縮小	

本部・部局連携体制とプログラム継続性の関係

		継続性	
トップダウン型	丸投げ型	×	
	本部主導・部局オーナーシップ型	◎	
	丸抱え型	・・	
一体型	大学間の差別化が明白である		
ボトムアップ型	(例：互いの地域性を活用)		
	大学間調整をしてくれる外部組織の存在		
タイアップ型	領域タイアップ型	◎	*条件つき
	地域タイアップ型	◎	*条件つき
	◎ 継続性あり		
	・・ 継続性はあるが、規模縮小		
	× 継続性なし、または、消極的規模縮小		

本部・部局連携体制とプログラム継続性の関係

		継続性	
トップダウン型	丸投げ型	×	
	本部主導・部局オーナーシップ型	◎	
	丸抱え型	・・	
一体型	本部・部局一体型	・・	
ボトムアップ型	承認型	・・	
	部局独立採算性型	◎	*条件つき
タイアップ型	領域タイアップ型異領域	◎	*条件つき
	地域タイアップ型	◎	*条件つき
	◎ 継続性あり		
	・・ 継続性はあるが、規模縮小		
	×	継続性なし、または、消極的規模縮小	

質の高い国際共同教育プログラムを継続的に運営できる組織とは？

1. 本部と部局の連携体制

- 連携体制の類型
- 本部と部局の連携体制とプログラムの継続性との関係

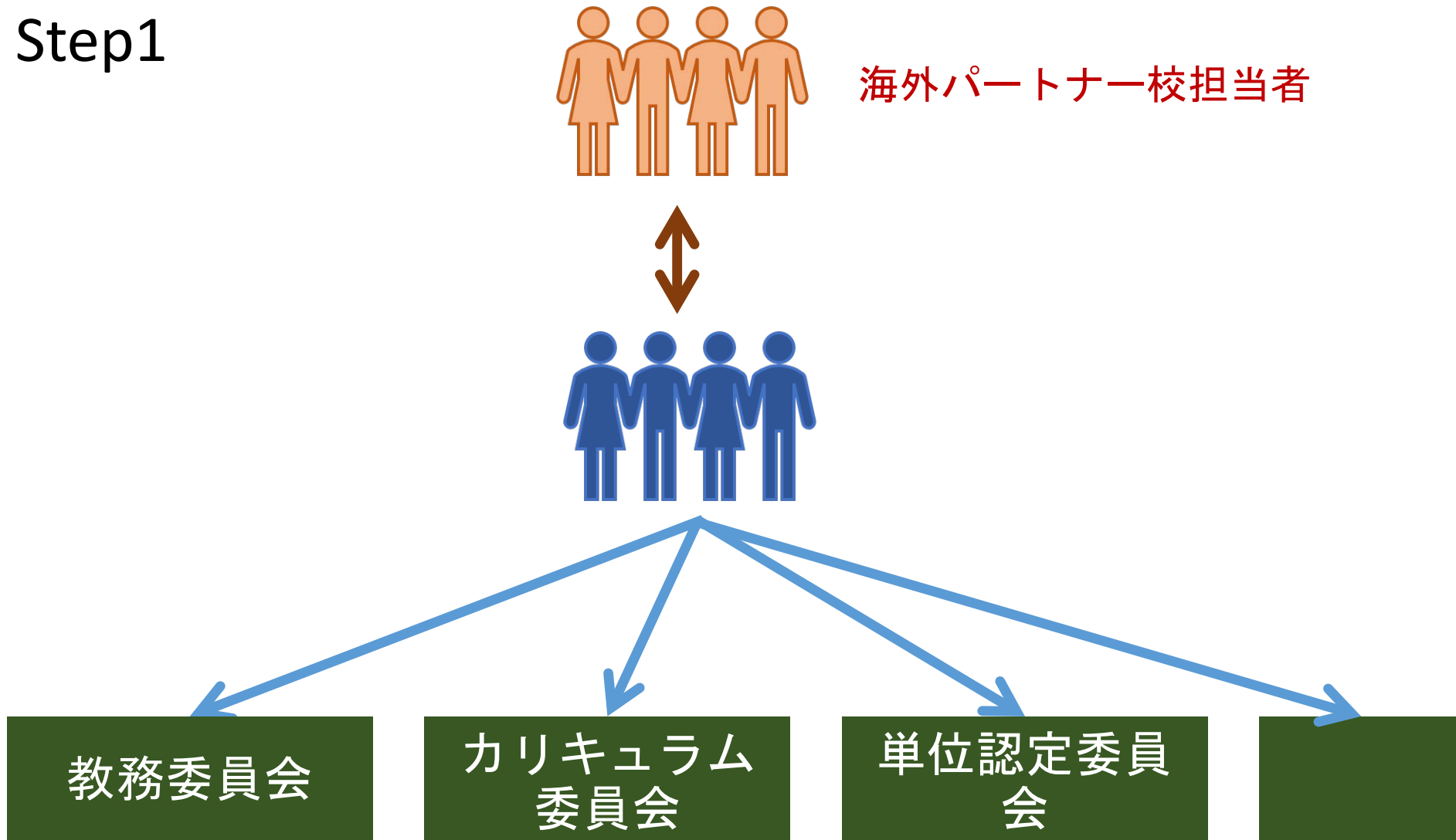
2. プログラムの実施・運営体制

- プログラム実施・運営体制の成熟度別分類
- プログラム実施・運営体制 Step1～Step5
- プログラム実施・運営体制と本部と部局の連携体制との関係

3. プログラムを構築・実施するにあたっての障壁

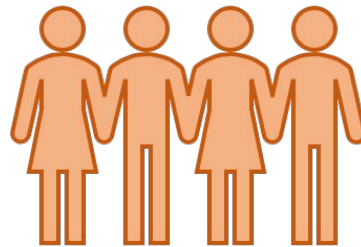
プログラム実施・運営体制

Step1



プログラム実施・運営体制

Step2



海外パートナー校担当者



協議会

部局

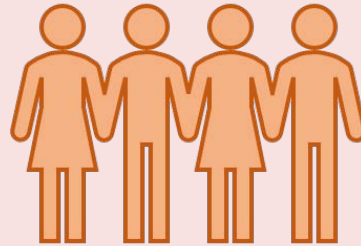
部局

部局

プログラム実施・運営体制

Step3

国際連携運営委員会



協議会

部局

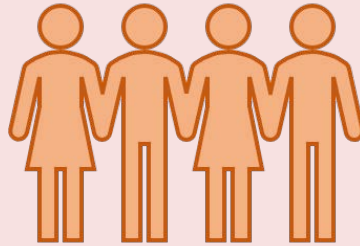
部局

部局

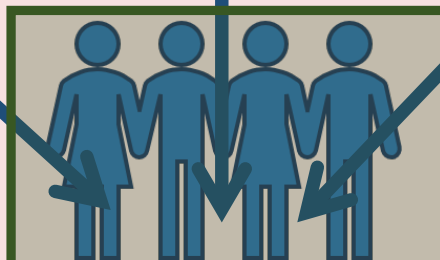
プログラム実施・運営体制

Step4

国際連携運営委員会



協議会

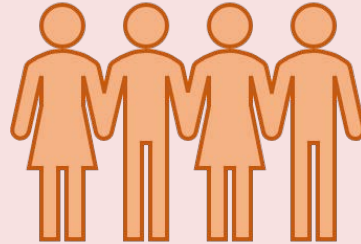


ワーキンググループ

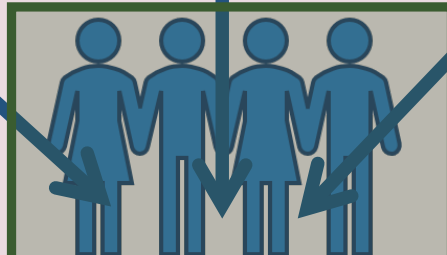
Step5

プログラム実施・運営体制

国際連携運営委員会



協議会

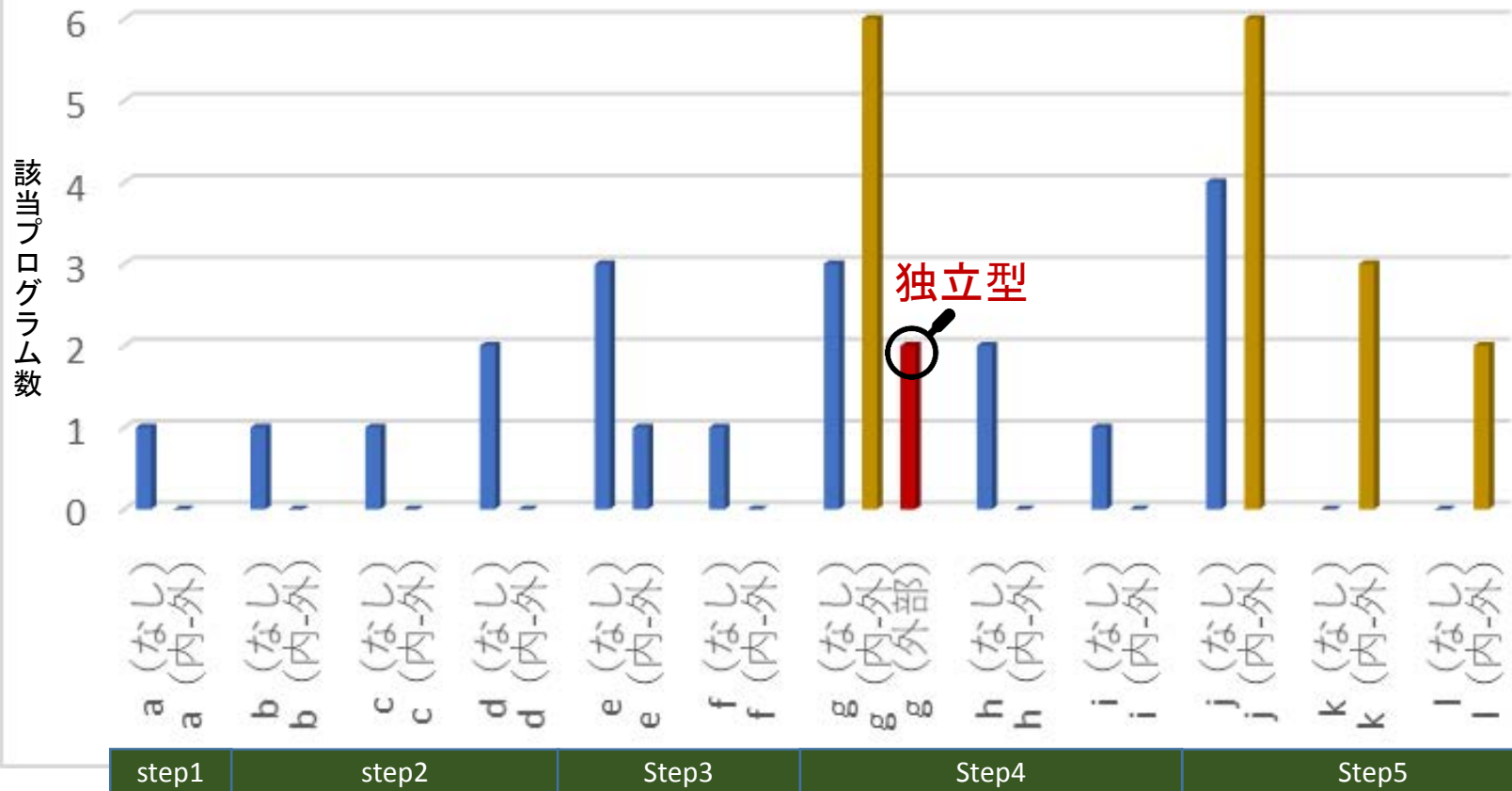


ワーキンググループ

本部国際戦略
センター

実施体制と質保証状況

国内単独プログラム



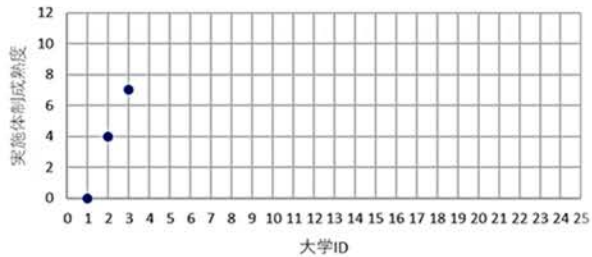
なし：内部質保証活動を実施していない

内-外：大学内の外部評価委員会の設置・外部評価の実施

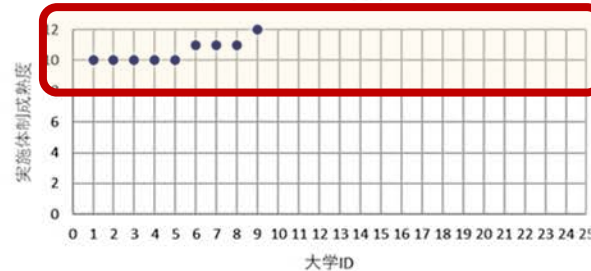
外部：外部組織による外部質保証をうけている

実施体制と組織類型との関係

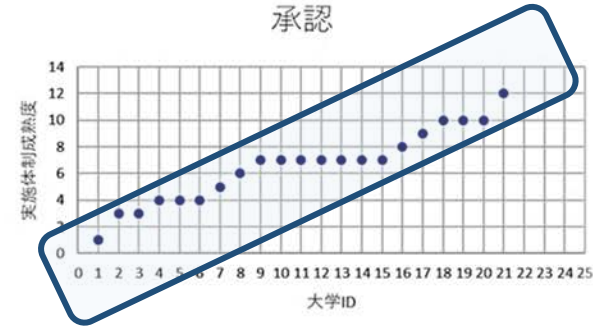
丸投げ



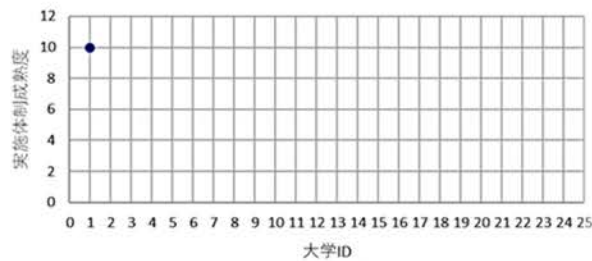
オーナーシップ



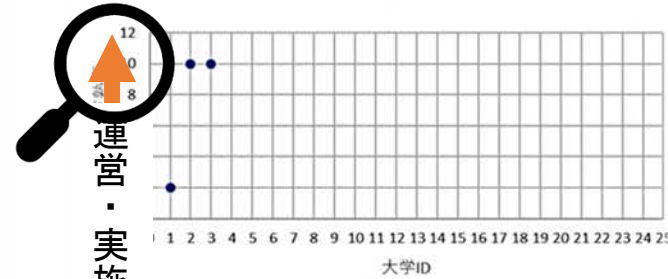
承認



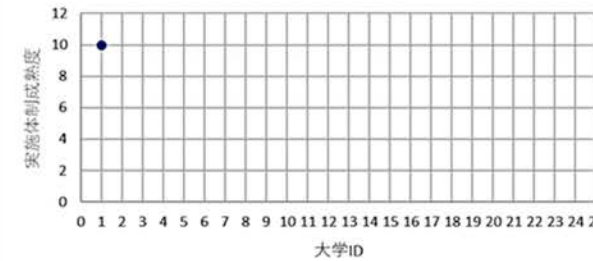
丸抱え



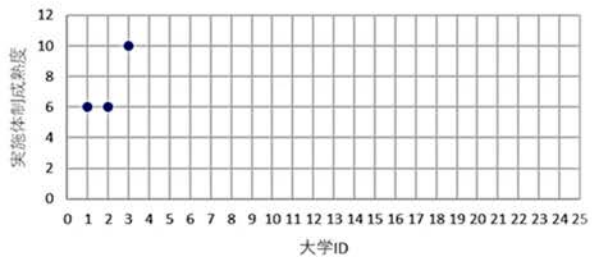
一体型



領域



独立



運営・実施体制の成熟度

質の高い国際共同教育プログラムを継続的に運営できる組織とは？

1. 本部と部局の連携体制

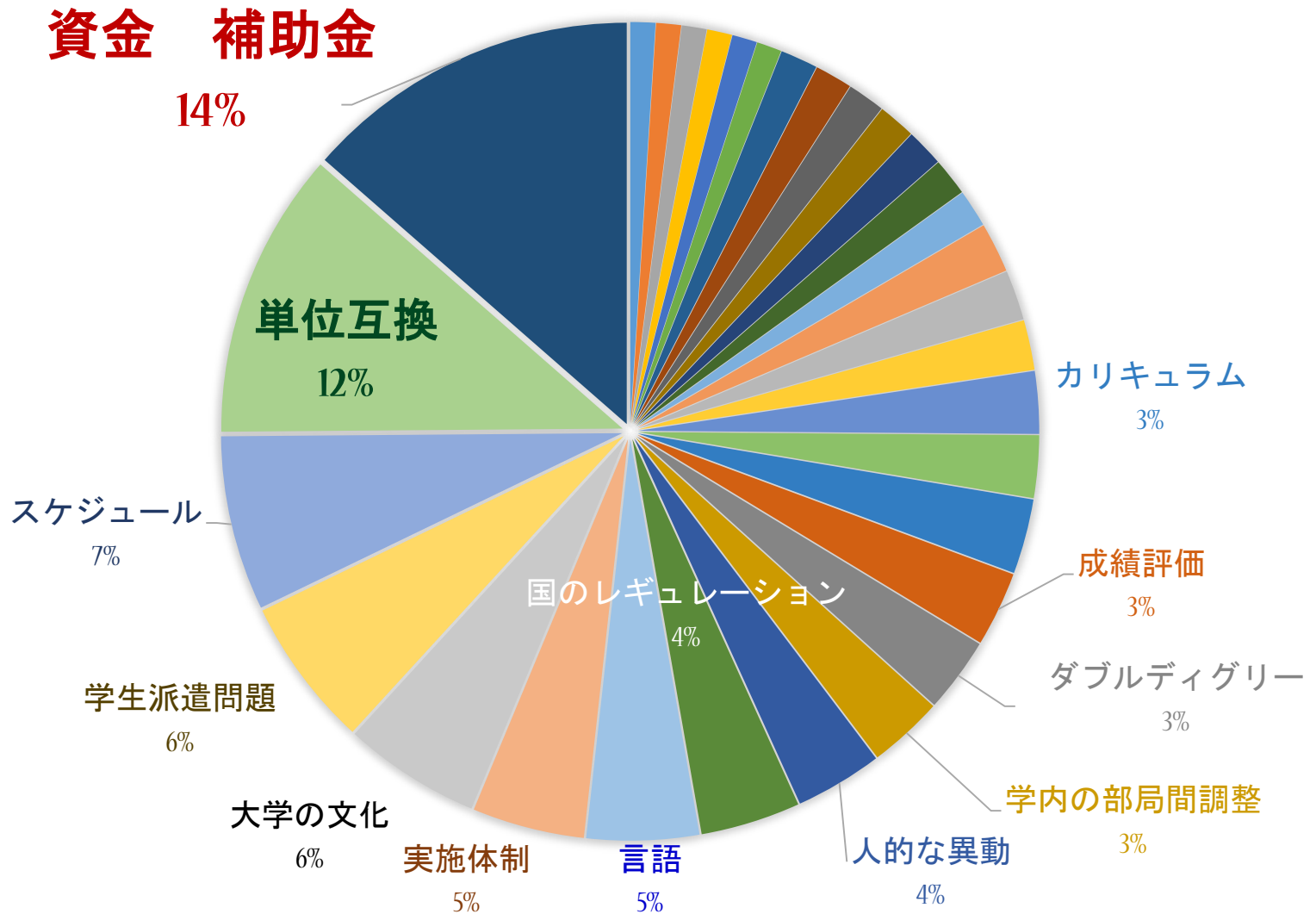
- 連携体制の類型
- 本部と部局の連携体制とプログラムの継続性との関係

2. プログラムの実施・運営体制

- プログラム実施・運営体制の成熟度別分類
- プログラム実施・運営体制と質保証実施状況
- プログラム実施・運営体制と本部と部局の連携体制との関係

3. プログラムを構築・実施するにあたっての障壁

プログラムを構築・実施するにあたっての障壁



質の高い国際共同教育プログラムを継続的に運営できる組織とは？

1. 本部と部局の連携体制

- 連携体制の類型
- 本部と部局の連携体制とプログラムの継続性との関係

2. プログラムの実施・運営体制

- プログラム実施・運営体制の成熟度別分類
- プログラム実施・運営体制と質保証実施状況
- プログラム実施・運営体制と本部と部局の連携体制との関係

3. プログラムを構築・実施するにあたっての障壁

意見交換